

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月1日

上場会社名 株式会社 プロルート丸光 上場取引所 大
 コード番号 8256 URL http://www.proroute.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)前田 佳央
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)安田 康一 TEL 06(6262)0303
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年3月21日～平成23年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,107	△15.6	△232	—	△319	—	△123	—
23年3月期第2四半期	11,982	△12.2	△146	—	△241	—	△183	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△7.32	—
23年3月期第2四半期	△10.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	18,252	5,024	27.5	305.01
23年3月期	18,223	5,403	29.7	302.14

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 5,024百万円 23年3月期 5,403百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年3月21日～平成24年3月20日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	22,160	△7.1	150	—	10	—	130	—	7.89	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期2Q	18,399,340株	23年3月期	18,399,340株
24年3月期2Q	1,924,797株	23年3月期	513,701株
24年3月期2Q	16,899,499株	23年3月期2Q	17,974,068株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注意事項)

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
【第2四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間における日本経済は、東日本大震災の影響による景気の落ち込みから一部には回復が見られたものの、急激な円高と株安の進行などにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの属する衣服・身の回り品業界にあっても、震災直後大きく冷え込んだ消費者マインドは一部に復調の兆しを見せているものの、雇用情勢の停滞や所得環境の低迷により、依然として厳しい状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、基幹となる前売卸売事業において組織再編により経営効率の向上を図ると共に、機能的商品の開発強化、及びアパレル事業部門の拡大強化等に注力し、連結子会社においては海外生産調達強化や小売店舗の集約、オリジナル商品の開発を図るなどグループ一丸となって目標達成に向け取り組んでおります。

しかしながら前述の厳しい環境により、子会社の小売事業においては消費者の節約志向から、また卸売事業においても、小売店の在庫調整などにより厳しい経営環境は続いています。

以上の結果、当社グループ全体の当第2四半期連結会計期間の売上高は44億60百万円（前年同四半期比14.8%減）、営業損失は2億32百万円（前年同四半期は営業損失1億98百万円）、経常損失は2億77百万円（前年同四半期は経常損失2億60百万円）、四半期純損失は2億69百万円（前年同四半期は四半期純損失1億94百万円）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高は101億7百万円（前年同四半期比15.6%減）、営業損失は2億32百万円（前年同四半期は営業損失1億46百万円）、経常損失は3億19百万円（前年同四半期は経常損失2億41百万円）、四半期純損失は1億23百万円（前年同四半期は四半期純損失1億83百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

卸売事業

当社並びに株式会社グローバルルートを合算した当第2四半期連結会計期間の卸売事業における売上高は43億94百万円、営業損失は2億12百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高は99億67百万円、営業損失は1億98百万円となりました。

小売事業

関東地区で小売業を営む株式会社サンマールの当第2四半期連結会計期間における売上高は66百万円、営業損失は20百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高は1億40百万円、営業損失は34百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は182億52百万円となり、前連結会計年度末に比べて29百万円増加いたしました。これは主として受取手形及び売掛金が1億99百万円増加し、貸倒引当金が3億37百万円減少する一方で、破産更生債権等（投資その他の資産のその他に含まれております）が4億59百万円減少したことによるものであります。

負債合計は132億27百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億8百万円増加いたしました。これは主として短期借入金が8億円増加する一方で、長期借入金が2億38百万円、社債が1億57百万円減少したことによるものであります。

純資産は50億24百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億79百万円減少いたしました。これは主として自己株式が1億85百万円増加し、利益剰余金が1億77百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて99百万円増加し、8億33百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による支出は91百万円（前年同四半期は1億11百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は、減価償却費1億71百万円であり、支出の主な内訳は、税金等調整前四半期純損失1億17百万円、貸倒引当金の減少1億24百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による収入は25百万円（前年同四半期は1億15百万円の支出）となりました。収入の主な内訳は、差入保証金の回収による収入1億99百万円、投資有価証券の売却による収入57百万円であり、支出の主な内訳は、事業譲受による支出1億90百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による収入は1億67百万円（前年同四半期は83百万円の支出）となりました。収入の主な内訳は、短期借入金の純増加額8億円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出5億96百万円、自己株式の取得による支出1億85百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績予想につきましては、平成23年8月2日に発表いたしました数値に変更はありません。なお、開示が必要となりました場合は、速やかにお知らせいたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 会計処理基準に関する事項の変更

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月21日 至平成23年9月20日)
<p>(資産除去債務に関する会計基準の適用)</p> <p>第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。</p> <p>これにより、当第2四半期連結累計期間の営業損失及び経常損失はそれぞれ628千円増加し、税金等調整前四半期純損失は23,605千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務変動額は30,117千円であります。</p>

② 表示方法の変更

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月21日 至 平成23年9月20日)
<p>(四半期連結損益計算書関係)</p> <p>1. 前第2四半期連結累計期間において区分掲記しておりました「法人税等還付加算金」(当第2四半期連結累計期間383千円)は、営業外収益総額の100分の20以下となったため、当第2四半期連結累計期間では営業外収益の「その他」に含めて表示しております。</p> <p>2. 前第2四半期連結累計期間において、特別利益の「その他」に含めていた「貸倒引当金戻入額」は、特別利益総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することとしております。なお、前第2四半期連結累計期間の特別利益の「その他」に含まれる「貸倒引当金戻入額」は554千円であります。</p> <p>3. 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。</p>

当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年6月21日 至 平成23年9月20日)
<p>(四半期連結損益計算書関係)</p> <p>「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。</p>

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	833,516	733,980
受取手形及び売掛金	1,934,832	1,735,079
商品	1,147,878	1,041,965
その他	86,030	112,781
貸倒引当金	△1,300	△1,100
流動資産合計	4,000,957	3,622,706
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,095,863	3,185,682
機械装置及び運搬具(純額)	34,651	35,569
工具、器具及び備品(純額)	154,439	178,920
土地	9,944,960	9,944,960
リース資産(純額)	97,467	102,308
有形固定資産合計	13,327,381	13,447,441
無形固定資産		
のれん	163,165	—
その他	195,111	216,973
無形固定資産合計	358,277	216,973
投資その他の資産		
投資有価証券	227,255	279,783
差入保証金	298,075	490,627
その他	53,588	515,904
貸倒引当金	△12,957	△350,225
投資その他の資産合計	565,961	936,090
固定資産合計	14,251,619	14,600,504
資産合計	18,252,577	18,223,211

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年3月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	856,548	742,295
短期借入金	4,000,000	3,200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,241,484	1,199,584
1年内償還予定の社債	314,000	314,000
未払法人税等	9,511	11,435
未払費用	309,036	318,370
賞与引当金	43,965	92,161
その他	311,077	326,650
流動負債合計	7,085,622	6,204,496
固定負債		
社債	1,287,000	1,444,000
長期借入金	3,765,363	4,003,705
退職給付引当金	703,913	726,503
役員退職慰労引当金	38,945	103,793
資産除去債務	30,117	—
その他	316,776	336,767
固定負債合計	6,142,114	6,614,768
負債合計	13,227,737	12,819,265
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,861,940	1,861,940
資本剰余金	1,456,450	1,456,450
利益剰余金	2,030,347	2,207,668
自己株式	△364,112	△178,513
株主資本合計	4,984,625	5,347,544
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	51,910	57,509
繰延ヘッジ損益	△11,694	△1,108
評価・換算差額等合計	40,215	56,401
少数株主持分	—	—
純資産合計	5,024,840	5,403,945
負債純資産合計	18,252,577	18,223,211

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年9月20日)
売上高	11,982,373	10,107,860
売上原価	9,438,997	7,975,928
売上総利益	2,543,375	2,131,932
販売費及び一般管理費	2,689,671	2,364,178
営業損失(△)	△146,296	△232,246
営業外収益		
受取利息	145	58
受取配当金	4,684	4,675
受取賃貸料	6,821	6,559
法人税等還付加算金	5,888	—
その他	10,398	7,487
営業外収益合計	27,938	18,781
営業外費用		
支払利息	84,963	75,946
支払手数料	6,424	12,244
社債発行費	25,568	—
その他	5,864	17,437
営業外費用合計	122,820	105,628
経常損失(△)	△241,179	△319,093
特別利益		
賞与引当金戻入額	26,283	19,268
貸倒引当金戻入額	—	125,000
役員退職慰労引当金戻入額	—	68,413
投資有価証券売却益	—	8,036
その他	4,034	4,076
特別利益合計	30,318	224,795
特別損失		
減損損失	10,510	—
店舗閉鎖損失	10,791	—
投資有価証券評価損	7,562	507
固定資産除却損	613	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	22,977
その他	2,100	—
特別損失合計	31,578	23,484
税金等調整前四半期純損失(△)	△242,439	△117,781
法人税、住民税及び事業税	3,650	3,235
法人税等調整額	△61,638	2,646
法人税等合計	△57,988	5,881
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△123,663
少数株主損失(△)	△994	—
四半期純損失(△)	△183,456	△123,663

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月21日 至平成22年9月20日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月21日 至平成23年9月20日)
売上高	5,233,434	4,460,967
売上原価	4,137,611	3,546,425
売上総利益	1,095,822	914,541
販売費及び一般管理費	1,293,929	1,147,055
営業損失(△)	△198,107	△232,513
営業外収益		
受取利息	140	53
受取配当金	2,443	2,159
受取賃貸料	3,115	3,191
法人税等還付加算金	4,525	—
その他	5,265	4,063
営業外収益合計	15,489	9,467
営業外費用		
支払利息	43,540	37,347
支払手数料	6,424	6,054
社債発行費	25,568	—
その他	2,345	10,741
営業外費用合計	77,877	54,143
経常損失(△)	△260,495	△277,190
特別利益		
投資有価証券売却益	—	8,036
その他	—	2,047
特別利益合計	—	10,083
特別損失		
減損損失	7,793	—
店舗閉鎖損失	9,791	—
投資有価証券評価損	7,562	507
固定資産除却損	172	—
その他	2,100	—
特別損失合計	27,419	507
税金等調整前四半期純損失(△)	△287,914	△267,613
法人税、住民税及び事業税	1,847	1,617
法人税等調整額	△95,245	△75
法人税等合計	△93,398	1,542
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△269,155
少数株主損失(△)	△27	—
四半期純損失(△)	△194,488	△269,155

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△242,439	△117,781
減価償却費	172,017	171,626
のれん償却額	—	12,564
減損損失	10,510	—
固定資産除却損	613	—
店舗閉鎖損失	10,791	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△8,036
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	22,977
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,040	△124,800
賞与引当金の増減額(△は減少)	△27,919	△48,196
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6,917	△22,589
受取利息及び受取配当金	△4,829	△4,734
支払利息	84,963	75,946
売上債権の増減額(△は増加)	△188,743	△59,575
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,529	△18,999
仕入債務の増減額(△は減少)	32,779	122,109
その他	214,651	△14,177
小計	43,910	△13,667
利息及び配当金の受取額	4,829	4,734
利息の支払額	△82,263	△76,101
法人税等の支払額	△4,184	△6,890
法人税等の還付額	149,498	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	111,791	△91,924
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△65,445	△11,389
投資有価証券の取得による支出	△912	△822
投資有価証券の売却による収入	—	57,831
貸付けによる支出	△750	△200
貸付金の回収による収入	370	335
出資金の払込による支出	△20	—
差入保証金の差入による支出	△55,290	△28,910
差入保証金の回収による収入	6,435	199,505
事業譲受による支出	—	△190,757
投資活動によるキャッシュ・フロー	△115,614	25,592
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000	800,000
長期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	△554,942	△596,442
社債の発行による収入	1,000,000	—
社債の償還による支出	△85,000	△157,000
リース債務の返済による支出	△25,032	△39,867
自己株式の取得による支出	△37,974	△185,598
配当金の支払額	△180,630	△53,656
財務活動によるキャッシュ・フロー	△83,579	167,434
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△1,567
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△87,401	99,536
現金及び現金同等物の期首残高	1,156,994	733,980
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,069,592	833,516

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成22年6月21日 至 平成22年9月20日)

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	5,084,089	149,344	5,233,434	—	5,233,434
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,093	—	3,093	(3,093)	—
計	5,087,182	149,344	5,236,527	(3,093)	5,233,434
営業損失(△)	△177,875	△21,544	△199,419	1,312	△198,107

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な商品

(1) 卸売事業……各種衣料品、寝具・インテリア、服飾雑貨、日用雑貨、店舗資材等

(2) 小売事業……紳士服、婦人服、服飾雑貨等

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月21日 至 平成22年9月20日)

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	11,687,720	294,653	11,982,373	—	11,982,373
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,659	—	17,659	(17,659)	—
計	11,705,379	294,653	12,000,032	(17,659)	11,982,373
営業損失(△)	△110,373	△37,075	△147,449	1,152	△146,296

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な商品

(1) 卸売事業……各種衣料品、寝具・インテリア、服飾雑貨、日用雑貨、店舗資材等

(2) 小売事業……紳士服、婦人服、服飾雑貨等

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成22年6月21日 至 平成22年9月20日)及び

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月21日 至 平成22年9月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自 平成22年6月21日 至 平成22年9月20日)及び

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年3月21日 至 平成22年9月20日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、独立した経営単位である当社及び子会社が、当社の経営方針のもと、それぞれの事業における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、当社並びに個々の子会社を最小単位とした事業別のセグメントから構成されており、「卸売事業」及び「小売事業」の2つを報告セグメントとしております。

なお、「卸売事業」の事業セグメントは、製品の内容及び市場等の類似性をもとに集約しております。

各報告セグメントの事業内容は、以下のとおりであります。

「卸売事業」：各種衣料品、寝具・インテリア、服飾雑貨等の卸売り（当社及び(株)グローバルルート）

「小売事業」：紳士服、婦人服、服飾雑貨等の小売り（(株)サンマール）

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成23年3月21日 至 平成23年9月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	卸売事業	小売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,967,521	140,339	10,107,860	—	10,107,860
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,967,521	140,339	10,107,860	—	10,107,860
セグメント損失(△)	△198,136	△34,304	△232,441	194	△232,246

(注) セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間(自 平成23年6月21日 至 平成23年9月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	卸売事業	小売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	4,394,255	66,711	4,460,967	—	4,460,967
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,394,255	66,711	4,460,967	—	4,460,967
セグメント損失(△)	△212,083	△20,625	△232,708	194	△232,513

(注) セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月21日 至 平成23年9月20日)

該当事項はありません。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結会計期間(自 平成23年6月21日 至 平成23年9月20日)

当第2四半期連結会計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が185,598千円増加し、当第2四半期連結会計期間末における自己株式の金額は364,112千円となっております。これは主に、平成23年4月27日開催の取締役会決議による会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、72,080千円の自己株式の取得を実施したことによるものであります。